

# 7月上旬出荷向けの白色系コギク新品種 「常陸サニーホワイト」(品種登録出願中)

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目で産出額が第1位、全国においても栽培面積が第2位、出荷量が第3位のシェアを占め、重要な花き品目となっています。県産の主な出荷時期は7月東京盆、8月旧盆、9月彼岸の物日で、今回、7月上旬出荷向けの白色系新品種「常陸サニーホワイト」を育成しました。草姿はまとまりのよい頂点咲きで、7月の東京盆向けの品種として有望です。

## ● 育成経過 ●

平成15年に夏系コギクの自然交配種子を採種し、翌16年に得られた実生から育種目標にかなった系統を1次選抜しました。平成17年に現地ほ場と生物学研究所において2次選抜を、平成18、19年に現地ほ場と園芸研究所において適応性試験を実施し、また市場性を調査して優良と認められ、新品種候補としました。



選抜ほ場における検討会



「常陸サニーホワイト」



## ● 特徴 ●

花色は純白に近い白色です。花蕾は淡ピンク色を帯びる場合もありますが、開花時には退色し白色になります。季咲きの開花時期は7月上旬で東京盆出荷が可能です。草姿は生産者や市場・花束加工業者から最も要望がある、まとまりのよい頂点咲き(下図A)です。白さび病にはやや弱いですが、現地試験における生産者の評価は普通から良好で、市場関係者からは茎葉色、ボリューム、草姿、花色について良好な評価を得ています。

「常陸サニーホワイト」の特性(試験年次:平成17~19年、7月出荷作型)

品種	花色 <sup>1)</sup>	開花始~終 (月・日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数 (節)	分枝数 (本)	花蕾数 (輪)	花径 (cm)	花房の形状 <sup>2)</sup>
常陸サニーホワイト	MN155C	6.30 ~ 7.8	94.9	63.7	34.1	10.8	31.4	3.8	A
雪舟	MN155A	7.8 ~ 7.22	81.3	71.6	27.9	11.5	36.8	4.0	B
白鳥	MN155A	7.6 ~ 7.15	69.4	50.6	27.5	8.9	10.7	3.7	B

1) RHS カラーチャートによる。

2) 柴田ら(1988. 野菜・茶業試験場研究報告: 右図)による。



A B C D